

●宇佐市の（ぶどう）産地の紹介

・宇佐市は、瀬戸内式気候に属し、年間平均気温は15度程度と温暖で、年間降水量は1,700mm程度とやや少ない地域であり、ぶどう産地としての半世紀を超える歴史を有しています。

特に、安心院地域では盆地特有の地形を活かして約100戸の農家がブランドぶどうを生産しており、観光農園、グリーンツーリズム、加工品販売、ふるさと納税返礼品など、ぶどうを核としたまちづくりにも力を入れています。また、市内ワイナリーで製造されたワインは、その品質が全国的に高い評価を受けています。

★少ない労働力で収穫するため、加温ハウス・無加温ハウス一部被覆施設の併用により出荷を分散しています。

★収穫は、日中を避けて早朝からの作業となります。

★安心院ぶどうは認知度が高く、部会で高品質のぶどうを安定出荷しているため、高い単価を維持できています。

★土作りから収穫まで年間を通じて作業がありますが、収穫後は少しゆとりが生まれます。

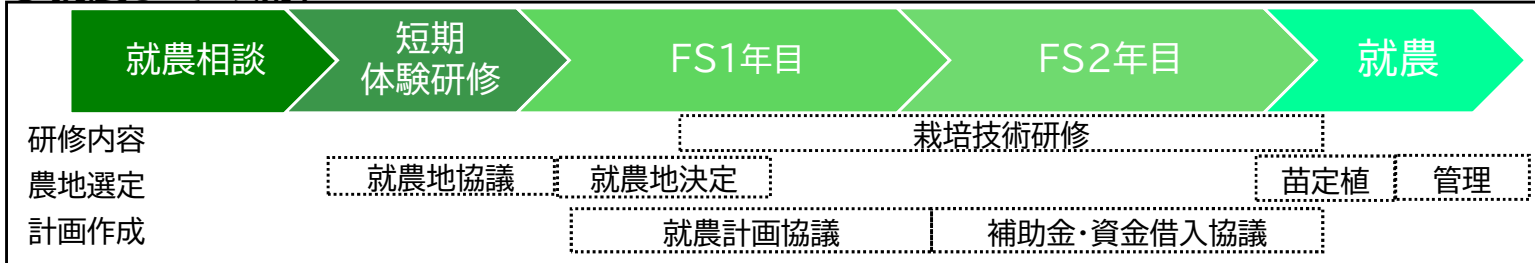
★安心して就農できる環境整備に関係機関で努力しています



●ぶどうの栽培スケジュール

品目名／月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
定植 1年目		苗1年目 付										
収穫 4年目以降	剪定 整枝		誘引 芽かき	病虫害防除 薬剤処理	袋かけ 摘粒	収穫 開始			収穫	終了 収穫		

●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標	就農10年目の経営目標
品目・規模・収量(単収/10a)	品目・規模・収量(単収/10a)
・ぶどう(夫婦型) 60a 7.2t(1.2t)	・ぶどう(夫婦型) 60a 8.4t(1.4t)
販売額・所得	販売額・所得
・販売額 1,500万円・所得430万円	・販売額 1,680万円・所得 660万円
従事者	従事者
・家族 2人・雇用 0人	・家族 2人・雇用 0人

・単収増加
・品質向上

※専従者給与は所得に含む。

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

※技術レベルが上がり、高品質な果実の生産が可能となった場合。

●モデル経営体の紹介

氏名 友田農園（友田明彦）

経営概要

面積90a 単収1.3t/10a 販売額2,100万円

構成員 夫婦2名

就農25年目（新規就農です！）

経営理念

- ・消費者ニーズに合わせた品種構成
- ・省力化・雇用に頼らない経営

メッセージ

- ・全てのことは“諸行無常”と心得よ！



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

JAおおいた安心院ぶどう部会

部会員数：96名 面積 94ha 販売金額 2.6億円(R6実績)

【活動】

- ・役員会からの就農コーチ推薦
- ・ほ場見学、短期研修生の受入
- ・若手生産者の先進地視察等



ぶどうファーマーズスクール

【活動】

- ・運営会議(研修状況確認、農地情報共有、就農相談)の開催
- ・座学(土づくり、薬剤、経営、簿記、農政制度、資金関係)
- ・研修生との面談、就農に向けた事業計画作成支援等



ぶどう部会講習会の様子

●宇佐市の支援策

○農業支援制度

- ・就農準備資金※60万円×研修期間(最長2年)

○移住子育て世帯支援制度

- ・住宅購入補助※最大150万円
- ・マイカー取得補助※最大100万円

○移住支援制度

- ・移住お試し滞在施設補助※最大4千円×7泊

○国営樹園地再編事業により新規就農者向けの園地を確保しています（中山、平山地区）

●産地が求める人材

○就農に対する強い動機と自ら能動的に学ぶ意欲を持って計画的に取り組める人

○ひたむきに農業に取り組む姿勢を持ち関係者の助言等を柔軟に受け入れられる人

○就農用の資金を保有している人
(なるべく500万円以上)

○借入がある場合は返済が確実な人

○宇佐市に定住（子育て）し、交流を通じて地域に溶け込み、産地とともに歩める人

●問い合わせ先

JAおおいた北部営農経済センター
〒872-0521
宇佐市安心院町下毛2186-1
TEL:0978-44-1810
FAX:0978-44-2074

宇佐市役所 農政課 農政係
〒872-0492 宇佐市大字上田1030番地
の1
TEL:0978-27-8155
FAX:0978-32-2331
HP:<https://www.city.usa.oita.jp>

